

令和5年6月三田市教育委員会定例会会議録

○開催日及び場所

令和5年6月28日（水）午後2時00分開会
午後3時20分閉会
三田市役所 南分館 601会議室

○議事日程

日程第1 開会
日程第2 前回会議録の報告、承認
日程第3 会議録署名委員指名
日程第4 会期の決定
日程第5 教育長の報告
日程第6 議事 議案第20号
日程第7 報告事項 報告第18号から第21号
日程第8 その他

○会議に出席した委員（5名）

1番	鹿嶽昌功	2番	大野裕己
3番	中上之仁	4番	中野文雄
5番	三木尚美		

○説明のため出席した者（11名）

学校教育部長	浅野晋司	学校教育部参事	外岡明文
教育総務課長	井上尚博	学校再編課長	上野樹
学校教育課長	田中仁朗	教育支援課長	市原敦
教育研修所長	小山恵介	学校給食課長	廣瀬敏彦
文化スポーツ課長	下山一彦	すくすく子育て課長	松下晋也
すくすく子育て課係長	西浩史		

○校長会代表（1名）

小学校校長会代表 福本八重歌

○会議に関係した事務局員（2名）

教育総務課 靱井清陽
清家梨奈子

○会議録署名委員

教 育 長 鹿 嶽 昌 功

教 育 委 員 三 木 尚 美

日程第1 開 会

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ただいまから令和5年6月第294回三田市教育委員会定例会を開会いたします。

日程第2 前回会議録の報告、承認

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは前回会議録の報告を事務局よりお願いします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

(令和5年5月29日教育委員会定例会会議録により説明)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ご質問等ございませんでしょうか。
なければ、このように承認させていただきます。

日程第3 会議録署名委員指名

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、会議録署名委員指名に移ります。
会議録署名委員は、5番 三木尚美 委員にお願いします。

日程第4 会 期 の 決 定

○教育長
(鹿嶽 昌功)

会期は本日一日、令和5年6月28日水曜日午後2時00分開会といたします。

日程第5 教 育 長 の 報 告

○教育長
(鹿嶽 昌功)

今年は梅雨入りが早かったわりには梅雨の長雨といったこともなく、今のところ子どもたちの登下校にも大きな影響が出ていないのが幸いです。6月からは小中学校で水泳指導が始まりましたが、今年度から小学生の体力づくりの一環とし

て、連合体育大会の開催見直しの財源等を活用し、スポーツインストラクターの派遣事業を行っており、器械体操への支援とともに水泳指導にも活用しています。一部報道でも取り上げられましたが、民間のスポーツクラブの温水プールを利用し、小学1年生から6年生まで学校全体の水泳指導をスポーツクラブに委託しています。先週、私も見学に行かせていただきました。指導員やプール監視員の十分な配置を始め、程よい水温、設備の整ったプールサイドなど、安全面においても十分であり、何よりも学年ごとの指導というより、各学年の中でも子どもたちの水泳技能にあったグループ分けを行わない指導されている様子を見ると、やはりプロの指導は違うと実感しました。また、教員はプールサイドからの見守り、評価をするにあたり実際に水の中に入らなくてよいため、プール準備を始め負担は少なくなっていると思います。また、屋内施設のため、近年大きな問題となっていましたプールでの熱中症対策についても、温水プールなので夏以外のオールシーズンで授業を組むことが出来ます。また、日頃の維持管理や修繕、上下水道代も不要になります。今年度からモデル事業として開始しましたが、子どもたちへの技術指導の効果、先生の負担、施設の減価償却費を含めた維持管理等、今年度の取組の成果と課題を十分検証し、次年度につなげていきたいと思っています。

それでは、前回定例会以降の私の活動について報告させていただきます。

1) 令和5年6月三田市議会定例会(6/1～6/30)

6月1日に三田市議会6月定例会が開会いたしました。教育委員会関係ではここでも報告させていただきました補正予算を提案しました。部活動の地域移行に係る合同部活動の実証事業と、学校給食の食材費の更なる高騰に係る保護者負担軽減事業など提案させていただき、6月5日と21日に予算決算常任委員会で説明し審議いただきました。最終日の来週30日に議決いただけるものと思っています。

一般質問につきましては、4人の議員から、心理教育、コミュニティ・スクール、部活動の地域移行、そして不登校対策についての質問がありました。答弁内容等については後ほど報告させていただきます。

2) 第2回部活動の地域移行に向けた推進委員会(6/23)

6月23日、昨年度末の3月に続き第2回部活動の地域移行に向けた推進委員会を開催しました。

今回は、国の実証事業であるフラワータウンでの合同部活動の取組の説明とともに、生徒・保護者等に対して説明する部活動地域移行についてのリーフレットの内容、教員に対する移行後の指導者としての参加意思等を尋ねるアンケートにつ

いて、意見をいただきました。

先進他都市では、令和3年度から国のモデル事業として検討を始めてこられたところもあります。三田市では、各教育委員の皆さんにも参加いただいた昨年12月の総合教育会議で、中学校部活動の地域移行についての検討を本格的に始めたので、約6か月を経たところです。

先進他都市の取組も参考にしながら、三田市の地域特性にあった部活動の地域移行について、一歩ずつ進めていければと思っています。

3) 三田国際マスタースマラソン実行委員会(6/27)

6月27日、総合福祉保健センターで本年度の三田国際マスタースマラソンについての実行委員会が開催され参加いたしました。今年は、新型コロナウイルス感染症の影響も少ないとして、例年通り12月17日の日曜日に開催される予定です。ハーフマラソンとともに、2キロのファンランも行われます。準備会場は昨年変更のあった郷の音ホールを会場としますが、スタートはこれまでと同様三田保育所前の県道黒石三田線上となります。

多くのランナーの参加を期待したいところです。

私からの報告は以上です。

日程第6 議 事

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは本日の議事に入ります。

(1)教育予算その他議会の議決を経るべき事項の原案を決定することについて

【三田市教育委員会事務委任規則第1条第12号関係】

議案第20号「三田市立学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例の制定に関する原案を決定することについて」事務局から説明をお願いします。

○学校教育課長
(田中 仁朗)

議案第20号「三田市立学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例の制定に関する原案を決定することについて」事務局から説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。
なければこのように承認します。

日程第7 報 告 事 項

- 教育長
(鹿嶽 昌功)
- 続きまして報告事項に移ります。
報告第18号「三田市立図書館の次期指定候補者募集について」事務局より説明をお願いします。
- 文化スポーツ課長
(下山 一彦)
- 報告第18号「三田市立図書館の次期指定候補者募集について」事務局より説明
- 教育長
(鹿嶽 昌功)
- ありがとうございます。
何かご意見、ご質問等ございますか。
- 教育委員
(中野 文雄)
- 指定管理者へ求める経営目標を6点読ませていただきました。現指定管理者への評価に対する新たな案としてこれらの経営目標が出されたのか、それとも、現在取組をされている中でさらにこれらを上積みしていこうとして出されているのか教えてください。
- 文化スポーツ課長
(下山 一彦)
- 資料にあります経営目標③～⑥番までは、令和元年度から令和5年度の5年間取り組んでいる内容となっています。充実した内容となりますので、これらは引き続きお願いしたいと思っています。加えて①と②を追加していますが、現在スマート図書館サービスの整備を進めており、ICタグを活用したICシステムの導入や、オンラインによる利用登録を開始します。これらの導入により職員の負担も軽減され、これまで図書館でできていなかった市民サービスへの事業を展開できるのではないかと考えています。
- 教育委員
(中野 文雄)
- 新しい生活実態に合わせて、より便利に、より身近に図書館を利用していただくための目標になると思います。特に、レファレンスサービスやアウトリーチ事業については方向性が示されることで、学校、家庭、日常生活全般で図書館を身近に感じ利用の推進に繋がると思います。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご意見、ご質問等ございますか。
ないようでしたらこのように報告いたします。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

続きまして、報告第19号「三田市子育て世帯の経済状況と生活実態に関する調査の結果について」事務局から説明をお願いします。

○すくすく子育て
課長(松下 晋
也)

報告第19号「三田市子育て世帯の経済状況と生活実態に関する調査の結果について」事務局から説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。

○教育委員
(大野 裕己)

今回の調査結果のまとめにより、これまでの変化に加え、より困難な家庭の状況も見つけることができ、懸念やこれからの取組について構造的に考えていただいたことは良かったと思います。別冊の調査報告書の中にある支援者調査の報告では、市の支援制度の情報が、支援を必要とする保護者に届いていないという課題が指摘されています。やはり、今回の懸念の中でも、将来について制約を抱えて制限してしまうような子どもがいる中で、そういう子どもにもあきらめないよう促していく上では、必要な情報が必要なところに伝わるのが大事だと思います。調査結果をとりまとめる上で、こうした情報伝達の課題についてはどのように考えていますか。

○すくすく子育て
課長(松下 晋
也)

今年度から子ども家庭センターを設置しました。子育て世帯訪問支援事業や、未就園児等全戸訪問事業等を実施し、普段から問題を抱えておられる児童、生徒の情報をいち早くキャッチしながら支援を進めていきたいと考えています。

○教育委員
(大野 裕己)

あきらめずに頑張っていきたいと思う子どもたちがいる中で、必要な情報をしっかり届けていただければ幸いです。また、保護者の教育費負担の側面も今後継続してみ

ていかなければならない課題だと思います。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他に何かご質問等ございますか。

○教育委員
(中野 文雄)

今回の調査報告については、学校や教育委員会にとって大事な情報をいただいていると考えます。全国学力学習状況調査等でも子どもの姿というのが見えてくるものですが、このアンケートによって、より具体的な課題が見えてきたと思います。前回より多く回収できたことから、関心の高さがうかがえます。このような結果を知ることがとても大事なことであり、学校や教育委員会としても、これらの結果を今後活用していかなければならないと思います。保・幼・小・中の連携や本市が目指す小中一貫教育の推進においても、子どもたちの現状と課題をどう把握していくかを考えていく一つの方向性が見えたような気がします。

また、自己実現可能な社会に向けた居場所作りや、学校で進めているコミュニティ・スクールなど、地域と共に子どもたちを見ていく上で、今回の結果の数字を踏まえた方向性を具体的に進めていけたら良いと思います。例えば、各市民センターが地域の中心となって、コミュニティ・スクールとも連携しながら何か子どもたちの支援になるような取組ができたらと思います。結果に基づいた施策への取組のみならず、地域も巻き込んだ三田独自の支援に繋がる取組を期待しています。

○教育委員
(三木 尚美)

貧困対策計画等に基づく取組として、子ども家庭センターの設置や、訪問事業等早くから情報をキャッチしていく体制は良いと思います。学校でも子どもの様子を見ることは可能だと思いますが、相談支援体制等とも連携しながらより支援を強化していくことが大事だと思います。

○教育委員
(中上 之仁)

ヤングケアラーについてもどのように支援するかが難しいと感じています。調査する上でも、子ども自身が今の状況を当たり前だと捉えていれば、調査結果にも数字で出てこないと思います。気になるような子どもには家庭訪問等、直接話をするのが本当に大事になるので、子どもが話しやすい環境

作りも大切になると考えます。私たちも子ども食堂に食材の提供等させてもらっていますが、しっかり食べて、子どもが話しやすくコミュニケーションをとりやすい場所を作っていくことが大事だと思います。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

結果だけを見ますと、世帯収入が前回より上がっているのが家庭の収入は増えています。これは共働き世帯が増えたことによるものですが、一方で親と子どもと一緒に過ごす時間が減っており、子ども自身の勉強時間も減っています。やはり家に親がいる時間が減ると、子どもの勉強の時間も減っていく傾向にあると思いますし、ヤングケアラーに繋がる点も懸念されます。国が打ち出している異次元の少子化対策によりいろいろな子育て世帯へ支援が増える中で、三田市でも調査の結果がどのように変化していくか、親と子の関わり方が家庭にもたらす変化も今後の大きな課題だと思います。他に何かご質問等ございますか。なければこのように報告します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

続きまして、報告第20号「第371回定例市議会（6月定例会）一般質問について」事務局から説明をお願いします。

○学校教育部長
(浅野 晋司)

報告第20号「第371回定例市議会（6月定例会）一般質問について」事務局から説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。なければこのように報告します。

○教育委員
(中上 之仁)

中田議員からの子どもの心のSOS信号の見える化についての質問に対して、「ひょうごっ子SNS悩み相談」をタブレットから直接利用できるように整備していると回答されていますが、整備された後、いつから利用できるのですか。

○学校教育部長
(浅野 晋司)

現在、文科省の方で共通でアプリを検討しております。利用開始について現時点で特定の時期は未定です。流動的にはな

りますが、国の動きを見極めながら市としてできることを考えていくこととなります。

○教育委員
(中上 之仁)

文科省の決定がおりてからになるとは思いますが、子どもたちの様子は日々変わります。タブレットが一人一人整備されているので、少しでも早く開始するようスピード感をもって進めていただきたいと思います。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他に何かご質問等ございますか。

○教育委員
(中野 文雄)

「チューター制度」はどこの学校で導入されていますか。

○学校教育課長
(田中 仁朗)

3年前から上野台中学校で導入しまして、現在はその取組を狭間中学校でも進めています。各小中学校へも教育相談の方法としてリーフレットにしたものを配布しております。

○教育委員
(中野 文雄)

効果は見えてきていますか。

○学校教育課長
(田中 仁朗)

担任ではない先生方に話をする事で、子どもたちからは相談しやすいという声を聞いています。

○教育委員
(中野 文雄)

従来どおり担任はおいているのですか。

○学校教育課長
(田中 仁朗)

担任は従来通りおります。学期に一回の教育相談週間のうち、一回はチューター制度を利用して子どもたち自身が相談しやすい先生に相談できる期間を設けています。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他に何かご質問等ございますか。
なければこのように報告します。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

続きまして、報告第21号「7月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明をお願いします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

報告第21号「7月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。
なければこのように進めてまいりますので、7月もよろしく
お願いします。

日程第8 その他

○教育長
(鹿嶽 昌功)

では、次回、7月の教育委員会定例会の日程について事務局
からお願いいたします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

7月教育委員会定例会の開催日時は令和5年7月26日
(水) 午前10時00分から南分館601会議室で予定して
おります。教科書採択がございますので長時間の協議となり
ますが、どうぞよろしくお願いいたします。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、各校長からの報告です。
本日、中学校校長会代表 細見校長がご欠席の為、代理で学
校教育課長 田中より後ほど報告事項について代読させてい
ただきます。先に小学校校長会代表より報告願います。

○小学校校長会代
表(福本 八重
歌)

○小学校長会について
6月の校長会においては、令和6年度に向けて、現在の学校
における重点課題等について意見交流を行いました。特に、
安全管理や危機管理面での課題や業務改善の取組に関して各
校の状況等を踏まえ情報共有を行いました。安心・安全な学
校、教職員が時間的にも精神的にもゆとりをもち、子どもと
向き合う時間を十分に確保できる学校となるよう、引き続き
校長会として考えていきたいと思っております。

あわせて、学校から保護者へ依頼する個人情報を含む調査票等の配布・回収の方法について本年度当初の状況を共有しました。今後、様式の変更、配布方法の工夫等も含めてさらに検討していくこととなりました。

○6月の学校の様子について

梅雨に入ってすっきりしない天候の日も多くありますが、すべての学校で水泳の学習が始まっています。特に今年度は市の新たな取組として、三輪小学校をはじめとして、水泳指導等のスポーツクラブ等への水泳指導の民間委託が開始され、実施校においては、その専門性を生かした指導が児童そして教員にも効果をもたらしていると感じています。一部学校では移動にかかる時間等の扱いについて苦慮していますが、成果や課題を検証し、取組の良さはぜひ多くの学校へ広げていただけたらと思うところです。

また、6月に入り、修学旅行や自然学校を実施している学校が多数あります。広島方面への修学旅行については、6月中に5校が実施を終えます。校外学習も行われ、近隣の奈良や京都に6年生が歴史学習に行き、3、4年生は環境体験活動や市内施設見学等を行っています。

本年度の自然学校は4年ぶりに4泊5日の実施となり、さらに丹波少年自然の家の閉所に伴い、初めての施設での活動となっている学校が多くあります。1学期実施校は、7月下旬までに10校あり、すでに実施を終えた学校もあります。最近感染者が増加傾向にある新型コロナウイルスの感染状況も気になるところです。その他インフルエンザや水疱瘡、ヘルパンギーナなど小学校ではさまざまな感染症にり患している児童が見られます。感染症対策と熱中症対策も十分に気をつけながら、子どもたちの心に残る自然学校にしていきたいと思えます。

1学期も残り少なくなってきました。これからはまとめの時期になります。よいまとめをして2学期につなげていければと思っています。

○学校教育課長

○学校行事について

市内すべての中学校で3年生の修学旅行と1年生の転地学習が無事に実施できましたことを報告させていただきます。新型コロナウイルス感染症が5類へ移行されたことで、世間一般において感染予防の意識が薄らいできている中での実施となりました。どこの中学校も、生徒による実行委員会を中心にルールやマナー、さらには感染対策を意識した活動を考えて本番を迎えました。そして、生徒は、自分たちが事前に考えたことを自分たちでしっかりと守ろうと、互いに注意し合って行動しました。平和について考えを深めたり、自然に親しみ豊かな心を養ったり、班別行動を通して仲間との絆を深めたり。思い出に残る校外学習になり、笑顔で帰校できたことをとてもうれしく思います。ちなみに、「一番の思い出は？」と3年生に尋ねたところ、「学年全体で盛り上がったホテルでのレクリエーション」が最多。「戦争の悲惨さを肌で感じられたこと」が次点に挙げられたことから、修学旅行の成功を実感できました。

また、2年生は昨年度の3学期から準備をしてきたトライやる・ウィークを実施しました。受入れ事業所数がコロナ禍前からは3割減ということもあり、すべての生徒が第1希望の活動に参加できたわけではありません。しかし、各事業所で生き生きと活動している生徒の姿や5日間の活動を終えて学校に登校してくる充実した表情から、多くの学びを得させていただいていることが、容易に判断できました。「トライやる・ウィーク」の趣旨を理解して受け入れていただいた事業所の方々はもちろんのこと、事前打ち合わせに奔走していただいた地域推進委員の皆様、くたくたになって帰宅する生徒たちを見守り励ましていただいた保護者の皆さんの支えがあったからこそ、意義深い活動になりました。ここで、活動日誌に書かれていた保護者のコメントを一部紹介します。

『疲れて、バタンキューになっている姿を見て、全力で頑張っているのだと感じます。「しんどかった」ではなく、「楽しかった」「園児がかわいかった」と言って取り組んでいることが嬉しいです。いろいろと経験を積んで、自分の進みたい道を見つけてください。そして、やりたい仕事が見つかった時、その道を選べるように、足りないところはしっかりと勉強してください。』

どの学年も、保護者や関係者の皆様のご理解やご支援のおかげで充実した活動が実施できたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。それぞれの行事の様子をメールや学校ホームページで発信、学校だよりや学年通信などに掲載し、保護者の皆

様に喜んでいただきました。

○三田市総体について

先週および先々週に3日間の期末考査が終了し、いよいよ三田市総体が目前に迫ってきています。3年生にとっては最後の公式大会なので、大会前の練習に余念がありません。陸上競技は、6月17日(土)、18日(日)に大会を終了し、丹有大会に向かっていますが、他の種目は7月1日(土)、2日(日)に市内各所で開催されます。今年は、入場制限なく観戦していただけることになっていきますので、保護者のみならず、これまで見ていただくことができなかつたおじいちゃんやおばあちゃんなど、多くの関係者の皆様に応援をいただきたいと思っています。

1学期も残すところ1か月足らずとなりました。情報モラル教室や薬物乱用防止講演会を実施するなど、夏休みに向けた指導を各校で行って行く予定です。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございました。

それでは以上をもちまして教育委員会定例会を閉会いたします。